# 令和４年度　王司山田園事業報告

１．はじめに

令和４年度は、２月より始まった処遇改善特例加算が 10 月よりベースアップ加算と名称変更した以外大きな制度改正もなく推移した。職員配置は、引き続き１.７：１での支援を継続し、平均利用者数は、生活介護３２.２名、施設入所支援３２．２名、平均障害支援区分５.７となっています。欠員は女性２名・男性１名（待機登録者：男性２１名・女性２名、緊急登録者:男性０名・女性０名令和５年３月３１日現在）である。

２．施設運営

（１）利用者支援

令和４年度も、支援員配置は夜勤者２名、宿直者１名、早出・遅出各２名、及び日勤者数名で支援した。リハビリを継続し、意志決定支援に配慮した視覚的支援は、外出等を自粛しているため、日常生活に限られてではあるが、ある程度効果がでている。

（２）施設及び設備整備について

開園後２１年が経過、備品や設備の老朽化が目立つようになってきて、以下の修理・取り替えを行った。

・シャワー水栓工事　・浄化槽フロート交換・計量ポンプ交換工事
・エアコンの修理　　・パソコンの修理　・ウオシュレット交換修理
・浴室水栓修理　　・男性居室 LED 取替工事・誘導灯修理

（３）職員について

６月に支援員１名退職、８月に支援員１名を採用し、１２月に調理員(パート）１名が退職し、２月支援員（準職員）１名を採用した。

３．状況報告

（１）利用者・職員状況

①利用状況

夜間支援である施設入所支援は、利用者定数３５名に対し、男性２０名・女性１３名の計３３名でスタートし、２月末女性１名が退園し、現在に至っている。

日中支援である生活介護事業の通所部門並びに短期入所事業については、新型コロナウイルス感染防止のため、利用の見合わせをおこなった。

②職員研修

職員の資質向上を図るための各種研修会・セミナー等は、新型コロナウイルス感染防止のため県外研修は対面・オンデマンド・延期又は中止となった。

[職員研修実績表]

| 月日 | 研　修　名 | 主　催 | 場　所 | 人数 |
|---|---|---|---|---|
| 6/24 | 県福祉協会評議員会 | 県福祉協会 | 山口市 | 1 |
| 6/29 | 県福祉協会幹事会 | 〃 | 〃 | 2 |
| 8/2 | 中堅職員研修アドバンスコース | 県研修所 | 〃 | 1 |
| 8/18 | 障害者虐待防止徹底研修会 | 県福祉協会 | 〃 | 1 |
| 9/9 | ソーシャルワークの基礎となる考え方 | 県研修所 | 〃 | 1 |
| 9/29 | キャリアパスチームリーダーコース | 〃 | 〃 | 1 |
| 10/6 | サービス管理責任者基礎研修 | YIC スタジオ | 〃 | 1 |
| 10/20 | 管理運営部会運営委員会 | 県福祉協会 | 〃 | 1 |
| 11/1・2 | リーダー職員研修 | 県 | 〃 | 1 |
| 11/15 | 経理事務研修会 | 県福祉協会 | 〃 | 2 |
| 11/16 | サービス管理責任者更新研修 | YIC スタジオ | 〃 | 1 |
| 11/17 | 県知的障害施設福祉振興大会 | 県福祉協会 | 〃 | 2 |
| 11/22 | 高齢者・障害者権利擁護の集い | 〃 | 〃 | 1 |
| 12/5 | 日中活動支援部会・障害者施設部会合同研修会 | 〃 | 〃 | 1 |
| 2/14 | 福祉サービス苦情解決責任者研修会 | 県研修所 | 〃 | 1 |
| 3/23 | 県福祉協会評議員会 | 県福祉協会 | 〃 | 1 |

※なお、オンデマンドで全国知的障害関係施設長会議（日本知的障害者福祉協会主催）医療保健部会（県福祉協会）強度行動障害養成研修（スマートキッズ）

園内研修（職員の自主研修）として、衣食住とは・精神面のリハビリテーション方法について・自分のタイプを知る・精神保健関係研修・夜間救急搬送時対応クレームについて・薬について・自閉スペクトラム症について・礼節等研修発表をおこなった。

令和４年度は、１名の職員（社会福祉士・精神保健福祉士）の採用と１名（精神保健福祉士）資格取得で、現在の資格保有者数は、社会福祉士４名、精神保健福祉士２名、介護福祉士１１名となっている。

③支援活動

（イ）健康管理

感染症予防の為、１日４回の手洗い・うがい・消毒の徹底や外出時のマスクの着用を行った結果、令和４年度はインフルエンザ・ノロウイルス・感染性胃腸炎は発生しなかったが、年末に利用者２名が職員から新型コロナウイルスに感染し一週間の療養となった。交流センター・多目的室・食堂・職員室に次亜塩素酸空間除菌脱臭機を設置し、男女談話室・職員室に除菌水噴霧器を設置使用した。帰省・買い物・外出等も含め外部との交流を見合わせて、職員も勤務中や外出時のマスクの着用と不要不急の外出は避けて、出勤前に検温等健康管理し感染予防に努めている。

令和４年度健康診断の実施状況

嘱託医浜田医師による年２回の健康診断（９月・３月）、３月に福田歯科医による歯科検診を実施した。また、看護師が適宜耳垢除去を行っている。新型コロナウイルスワクチン接種は、８月に４回目、１２月に５回目を全利用者さんに実施した。

令和４年度　入院状況

・適応障害、重度精神遅滞：下関病院　２２１日
・誤嚥性肺炎：関門医療センター　１８日
・尿路感染症：岡病院　９日
・尿路感染症：市民病院　２３日

令和４年度　通院状況

| 医療機関名 | 診療科目 | 延人員 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 下関病院 | 精神科 | 17 | てんかん・精神遅滞・適応障害 |
| 浜田内科 | 内科 | 7 | 肝機能障害・糖尿病・高血圧等 |
| 河崎皮膚科 | 皮膚科 | 17 | 褥瘡・アトピー性皮膚炎等 |
| 京野眼科 | 眼科 | 6 | 白内障等 |
| 岡病院 | 内科・外科 | 4 | 打撲等 |
| かげやま耳鼻科 | 耳鼻科 | 2 | 耳漏 |
| 福田歯科 | 歯科 | 18 | 齲歯・歯周病・義歯調整 |
| おづきクリニック | 整形外科 | 5 | 関節痛・骨粗鬆症等 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 長府泌尿器科 | 泌尿器科 | 3 | 尿細菌検査・前立腺肥大等 |
| 関門医療センター | 総合病院 | 3 | 発熱等 |
| 済生会病院 | 総合病院 | 2 | 便秘 |
| 下関市民病院 | 総合病院 | 4 | 耳下腺腫瘍・検査等 |

（ロ）活動状況

令和３年度に引き続き、利用者の身体機能、特性別の５グループ編成での支援を行った。支援員も昨年度同様に固定せず流動的な配置を行った。

活動内容において、朝ワーク、カレンダー作りなどの個別担当支援、リハビリ・リラクゼーションなどの健康維持、壁面制作・書道・陶芸等創作活動、理美容・レクレエーションを含む生活支援、館内外清掃や草取りなどの環境整備の５つのカテゴリーに分類してバランス良く各班の特性合わせて配置し行った。

障害特性上、活動参加が難しい利用者を編成した班には視覚支援の個別ワークを行いある程度効果がでて、落ち着いて活動できるようになった。

外出は新型コロナウイルス感染防止のため日帰り旅行・ドライブを実施した。車内で過ごすだけではなく、他の利用客の状況により現地で少し休憩や散策し気分転換を図った。

入浴は、ゆっくり・少人数で入浴することで、利用者さんはリフレッシュできたようです。洗体も不完全ではあるが自分で洗える利用者が多くなり、意欲もわいてきている。

（ハ）生活支援状況

担当別行事

・担当別給食・・・支援員と担当利用者さんが、交流センター和室および第２多目的室で給食を食べ、家庭的な雰囲気を味わう為企画していたがコロナ感染症防止のため中止した。

・担当別調理実習・・・支援員と担当利用者さんが手作りの物を家庭的な雰囲気で飲食できるよう企画していたがコロナ感染症防止のため中止した。

・担当別外出・王司婦人会との調理実習・・・令和３年度同様令和４年度も新型コロナウイルス感染防止のため中止した。

・理美容

園内にて業者による理美容は、感染予防に努めながら２ケ月に１回、７月以降

は毎月実施した。

（ニ）地域交流・地域貢献

山田自治会　５月の溝掃除６月の草刈りは参加し、清末小学校との交流会・神田川まつり・王司地区・清末地区文化祭は主催者の判断で中止となった。

また、高齢者買い物支援と健康体操教室は、新型コロナウイルス感染予防のため中止した。小原地区・山田地区の廃品回収は、感染予防のため利用者は参加せず、職員のみで行った。

（ホ）広報

王司山田園の広報誌「かざぐるま」第３８号を１月に発行し、王司・清末地区近隣１１自治会に回覧をお願いし、関係機関及び地域役員、保護者に３５０部配布、王司山田園を育む会へ約２００部提供した。

毎月の家族会は感染予防のため中止とし、保護者に対して近況報告として、毎月の園活動状況や予定と利用者の近況等について連絡事項をまとめた「王司山田園だより」を毎月末に送付した。

（へ）社会支援及び諸行事

令和４年度　行事実施状況

| 実施月日 | | 行　事　名 | 実　施　内　容 | 場　所 |
|---|---|---|---|---|
| ４月 | ６日 | 春を楽しむ会 | ドライブ・お花見弁当 | 王司山田園 |
| | ２４日 | レクの日 | ゲーム・クイズ　ほか | 〃 |
| ５月 | ２７日 | スポーツデイ | ボッチャ | 〃 |
| ６月 | ４日 | ミニふれあい祭り | ミニバザー・模擬店・喫茶 | 〃 |
| ７月 | ７日 | 七夕 | 短冊・飾り付け | 〃 |
| ８月 | ５日 | 王司山田園夏祭り | 模擬喫茶・カラオケ | 〃 |
| | １７日 | ドライブ行事 | 豊田蛍の里ミュージアム | 同左 |
| ９月 | ２８日 | レクの日 | みのりの丘散策 | 同左 |
| １０月 | １４日 | 日帰り旅行 | 秋吉台カルスト台地・外食 | 同左 |
| １１月 | １０日 | デザートバイキング | 昼食・デザートバイキング | 王司山田園 |
| | ２５日 | レクの日 | ゲーム・レクリエーション | 〃 |
| １２月 | ２１日 | 忘年会・クリスマス会 | 宴会・プレゼント | 王司山田園 |
| １月 | １３日 | 新年会 | 初詣・宴会・テイータイム | 王司山田園 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ２月 | ３日 | 節　　分 | 書道・面作り | 〃 |
| ３月 | ３日 | 自治会レク | 乃木浜公園散策・弁当 | 同左 |

・月２回の割合で利用者さんの嗜好品（おやつ等）・日用品を職員が代行して買い物に行き、月１回利用者さん担当職員が衣類・雑誌等や必需品を代行して購入している。
・王司山田園ミニふれあいまつりでは、感染防止のため、利用者さんと職員だけでの開催となり、開会宣言からフィナーレまで規模は縮小しましたが模擬店バザー・喫茶コーナー・催し物等あり利用者の皆様は満足されていました。

・日帰り旅行は感染予防のため、３密を避ける意味で秋吉台カルスト台地に行きその後、付近の食堂を貸し切り、昼食を摂っていただいた。久しぶりの外食に皆満足されていました。

・クリスマス会・忘年会は、施設内でコロナウイルス感染が発生したため、規模を縮小して実施。サンタさんからのクリスマスプレゼントを受け取り、食事は豪華弁当を提供した。テイータイムはクリスマスケーキを食べとても皆様満足されていました。

・新年会もクリスマス会・忘年会同様コロナ感染発生の為、規模を縮小して実施。行事担当が作成した王司山田神社に一人ひとり参拝してもらい、食事は豪華弁当を提供した。

（ト）防火・防災対策
　年２回１２月と３月に総合訓練（避難・通報・消火訓練等）を東消防署に届け出て、実施している。その際、消防署員より利用者さんへ災害・火災に関する講義を行っている。３か月に１回の割合で避難訓練も実施しし、その中には夜間想定訓練や風水害に対する避難訓練も取り入れている。年２回消防設備の点検を行い、点検結果を東消防署に提出し、指摘事項については適宜改善を行った。

（チ）給食
　昨年度に引き続き、利用者さん全員を対象として栄養ケアマネジメントを実施した。日本人の食事摂取基準２０２０年版に基づいて、質・量ともに個人にあったものを提供する事により嗜好も把握している。家庭的な雰囲気を出すために利用者の誕生日ごとに希望を受け、一人一人の誕生日メニューを提供し、毎月1～2 回は選択メニューを実施した。また新型コロナウイルス感染予防のため利

用者さんが外食できなくなった事をふまえ、施設内でのデザートバイキングの実施、ファーストフードの購入、豪華な弁当の提供等で、利用者さんの満足感を高めるよう努めた。新型コロナウイルス対策として男性利用者は食堂、女性利用者は居室で食事を摂るように食事場所を変更した事により、給食の提供は配膳しやすいよう工夫して行った。

（リ）短期入所利用状況

コロナウイルス感染防止のため利用を見合わせてもらった。

（ヌ）権利擁護・虐待防止

虐待防止委員会を定期的に開催し、虐待防止に努めた。支援員には、虐待防止研修を受講させ、職員会議においても日々変化する内容の周知を行った。あわせて職員セルフチェックや労働安全衛生法に定められているストレスチェックを年１回実施し、結果を集計して提示している。

令和４年度　ヒヤリハットシート提出件数　２７件
令和４年度　入院報告書提出数　３件
※医療機関に入院した場合、救急車を要請しての入院は事故報告書から入院報告書に様式を変更している。

４．その他

令和２年３月より新型コロナウイルス感染防止のため、利用者さんの医療機関への受診を除く外出・外泊を原則禁止とし、手洗い・うがい消毒・急用でない面会の禁止・１日３回の検温等バイタルチェック、テーブル・ドアノブ等の消毒、定期的換気、来訪者・業者等の館内立入禁止（玄関前にて対応）、職員へ出勤前の検温・手洗い・消毒の徹底・マスクの着用・不要不急の外出自粛・３密の回避、短期入所・日帰り生活介護利用の見合わせを行って感染予防に努めている。下関長府ライオンズクラブ様より６月と１２月花苗を寄贈して頂き、利用者さんと職員で花壇とプランターに植え替え園内の環境美化に努めている。